

➤ 21日 金曜

ヨハネ



14:15 もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

14:16 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしていただきます。

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにいらっしゃるようになるのです。

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。

14:19 あと少しで、世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生き、あなたがたも生きることになるからです。

14:20 その日には、わたしが父のうちに、あなたがたがわたしのうちに、そしてわたしがあなたがたのうちにいることが、あなたがたに分かります。

14:21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です。わたしを愛している人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現します。」

14:22 イスカリオテでないほうのユダがイエスに言った。「主よ。私たちにはご自分を現そうとなさるのに、世にはそうなさらないのは、どうしてですか。」

14:23 イエスは彼に答えられた。「だれでも

わたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

14:24 わたしを愛さない人は、わたしのことばを守りません。あなたがたが聞いていることばは、わたしのものではなく、わたしを遣わされた父のものです。

聖霊は真理の御霊であり、クリスチャンしか知ることができません。また「うちにおられる方」です。イエス様が天に行かれて「見なく」なっても、聖霊によってイエス様を「見ます」ということが実現するのです。そして愛によってイエス様の「戒めを保つ」ようになるのです。

クリスチャン生活は自由なものであり、教会でも本人の意思に反して、何かをさせられるということはありません。それは何でも勝手にやればよいというのではなく、聖霊によって内からみこころを行いたいという思いが与えられるのです。

聖霊を愛して喜んで従うとともに、他の人に働かれる聖霊のわざを、また教会に働かれる聖霊のわざを尊び、主の導きに従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

